

県立病院事業評価委員会からの評価・提言事項

平成25年11月12日
県立病院事業評価委員会

総括的評価

病院を整備するに当たっては、経済状況や変化する様々な環境の中で、整備にかかる期間、スピードアップを図る視点は大きな要因である。

また、イニシャルコストとランニングコストについても十分に留意しなければならない。一部改築か全面改築にするかは、大きな決断となる。

さらには、技術革新の活用も大事であり、これによる効率化も考えてはどうか。

個別の提言等

施設は、大抵20年、30年経つと機能が追いつかなくなる。そういう意味で、今、再整備を検討するのは、よいタイミングだと思われる。

検討するに当たっては、予算がどれくらいなのか、病床数はどれくらいになるのか、枠を決めてもらいたい。

精神医療センターは、病院本体と一体的にあった方がよい。現在の場所で、本当に建てたい病院を造るべきである。

思い切って、全面的に建て替えて、県民が安心して使える施設にしてもらいたい。

費用対効果を考えると移転での全面改築が一番望ましいと考える。また、費用を節約するのであれば、一部改修にとどめるという手段もある。

効率よく建てるのが大切だと思う。新しい場所に建てた方が費用は安くなる。3案、4案は工期が長くなるようだが、建設にはスピードが大事である。

改築費用が示されていないので、何とも言えないが、全面改築がすっきりしていると思う。土地があるなら移転が望ましい。